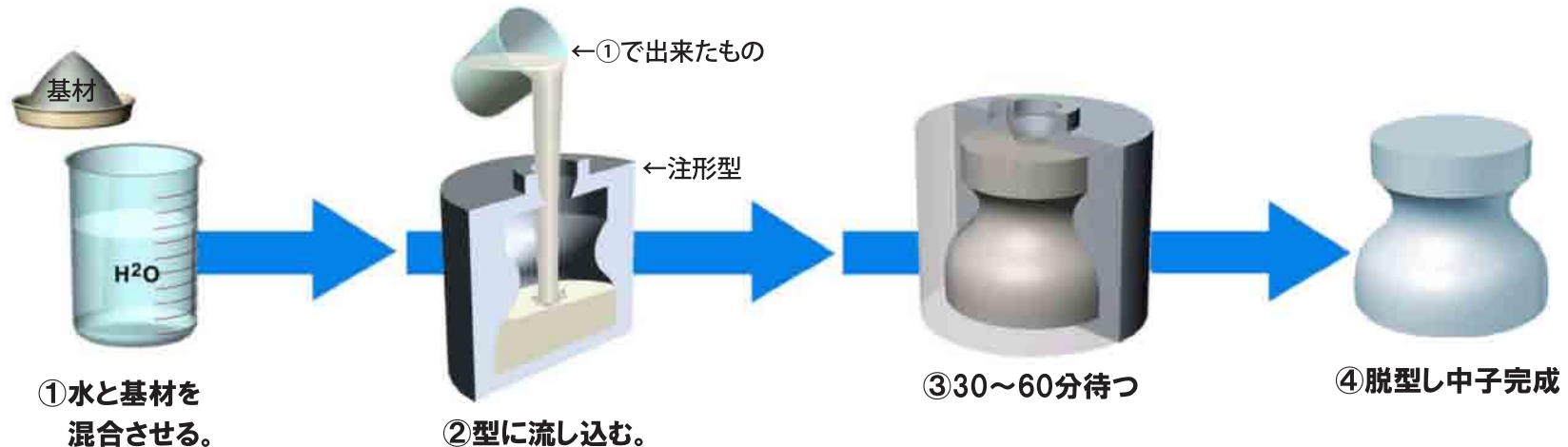


水溶性溶解中子とは

水溶性溶解中子とはその名の通り**”水で溶ける中子”**です。
粉体の基材に水を加え混合したものを型に注型します。
この材料は注型後30～60分で硬化します。
硬化後は型より脱型し、乾燥炉等でキュア(熱処理)を行い中子は完成となります。
その後は、離型処理を施し従来通りの複合材による成形を行います。
成形後は、中子を水で溶かし流し完成となります。

- ・従来の中子では出来なかった、異形状の**一体成型が可能**。
- ・上下型・分割型を用いての注型が可能なることにより、同一形状を必要数量製作が容易になる。
- ・破損時の修正が可能。
- ・汎用乾燥炉により硬化が可能。
- ・あらゆる樹脂含浸複合材(プリプレグ)の積層が可能。
- ・オートクレーブ・乾燥炉等で積層硬化後、**水道水で中子部分を洗い流せる**。
- ・**環境に優しく**、従来工法に対し**工数削減**が可能となる。

特徴



平板形状補強例

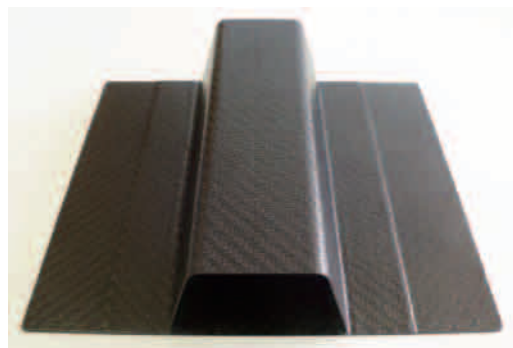


表面処理済の水溶性中子

ダクト製作例



上下型を使用し、注型による中子製作です。



平板状に中子を置き積層します。



インフュージョンによる
一体成形も可能です。



中子は成型後水で溶かします。
結果、成形品は中空に。



中子は脱型の後、表面シール塗布、
カーボンフリップレを積層、硬化後、水道水で流します。
中子はゴム成形にも対応します。



株式会社 **フジナミ**

ロールバー
一体成形例



大型形状
製作例



1 ㎡超で複雑形状な中子も
型を用意し注型で製作可能です。

パイプ形状で長いものでも
対応可能です。



ゴム製品
成形型例

樹脂含浸複合材のみならず
その他の材質にも使用可能です。

